

# 「誠実・実行・こころざし！」

東伊豆町議会議員

＜総務経済常任委員長＞

須佐まもる

総務経済委員長として、事業所への聞き取り調査の取りまとめを行いました。



委員長



## イソブキ便り! 号外 令和 3年 10月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18  
Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで! [http://www.knossos.jp/giin\\_mamoru/face1.htm](http://www.knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm)

### ゴミ料金の住民説明会

来年4月より予定しているゴミ処理料金の改定について、住民説明会が各地区で開かれました。

エコセクターでは東伊豆・河津の両町のゴミを処理しておりますが、ゴミの排出量、リサイクル率とも県下最低レベルであり、町内の代表者でなる事業検討委員会からは、収集ゴミの有料化と持ち込みゴミの料金改定を是とする答申が出されました。

一方で、ゴミ減量と資源化施策の拡充も進めるべきとされました。一例をあげると、最近様々な食品に利用される食品トレイについては、今のところ“白色”しかリサイクルの対象にされてなく、寿司などにみられる“柄物”や透明のトレイなどはリサイクルの対象になっていません。

町の取り組みとして評価できる点が「古着の回収ボックス」です。役場一階で毎年5ヶ月程度回収しています。伊豆半島は軒並みごみの排出量が多く、リゾート地特有のごみの多さと処分費

をどこに求めるのか。リサイクルへの意識も含めて大変難しい問題です。  
(7/19)



9月議会の一般質問では、マックスバリュの店頭に設置されているリサイクルボックスが、町内のスーパーなどに設置していただけないかと町に提言しました。

### 駿東伊豆消防組合議会

駿東伊豆消防組合の議会が沼津の消防署本部でありました。東伊豆町は町単独で消防を持っていましたが、平成28年4月に沼津市・伊東市・伊豆市・伊豆の国市・函南町・東伊豆町・清水町の4市3町で駿東伊豆消防組合が結成されました。構想段階ではもともと多くの自治体が入る予定でしたが、様々な事情により7自治体で運営されています。

広域化ですべてが解決されたわけではありません。例えば、広域化前は119番通報すれば東伊豆の消防

署へつながり、職員は町内を熟知して行動していましたが、今は本部の指令センターへつながることになります。

また、消防車や救急車の配置の問題もあります。広域化すれば城東地区は八幡野署から来た方が早いという説明でしたが、伊東市も広く、田方の方面も見なければいけない事情もあり、なかなかタイミングよく来てくれないこともあり、そうなるかと広域化前の方が東伊豆町にとって良かったのではないかという意見もあります。

これは人命に関わる難しい問題で、大規模災害を考えると伊豆地域の協力体制が重要です。「困ったときはお互い様」の精神が消防や救急には大切なのだと思います。

議会では議案の審議のほか、令和2年度決算について認定も行いました。また、7月の伊豆山の土砂災害に応援で出動した隊員の報告を受けスライドも視聴しました。応援に行かれた隊員の皆さん、大変ご苦労様でした。  
(8/16)

### 事業所への聞き取り調査

総務経済常任委員会では、宿泊施設20件、飲食店を中心に商店理美容院50軒の皆様に協力いただき聞き取り調査を実施しました。集計結果をもとに、国・県に対して意見書を送付しました。さらに、町への要望につなげていきます。

結果は議会だよりと町のホームページにも掲載する予定です。ご協力いただいた業所の皆様には重ねて御礼申し上げます。

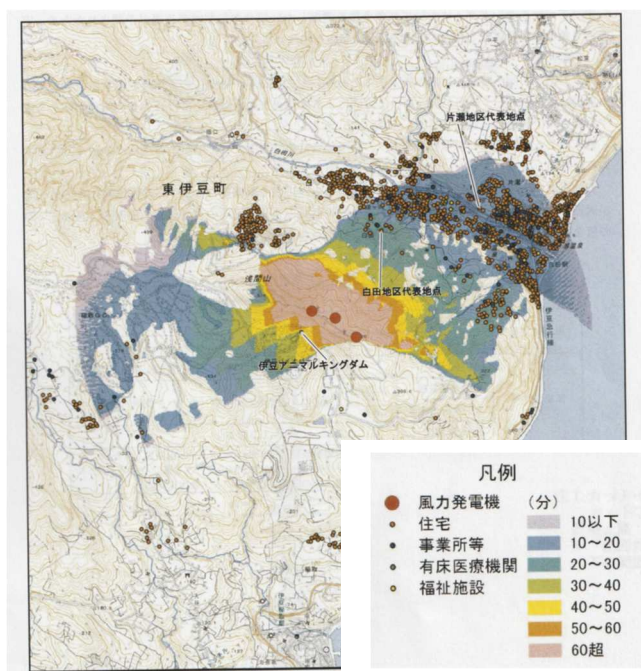
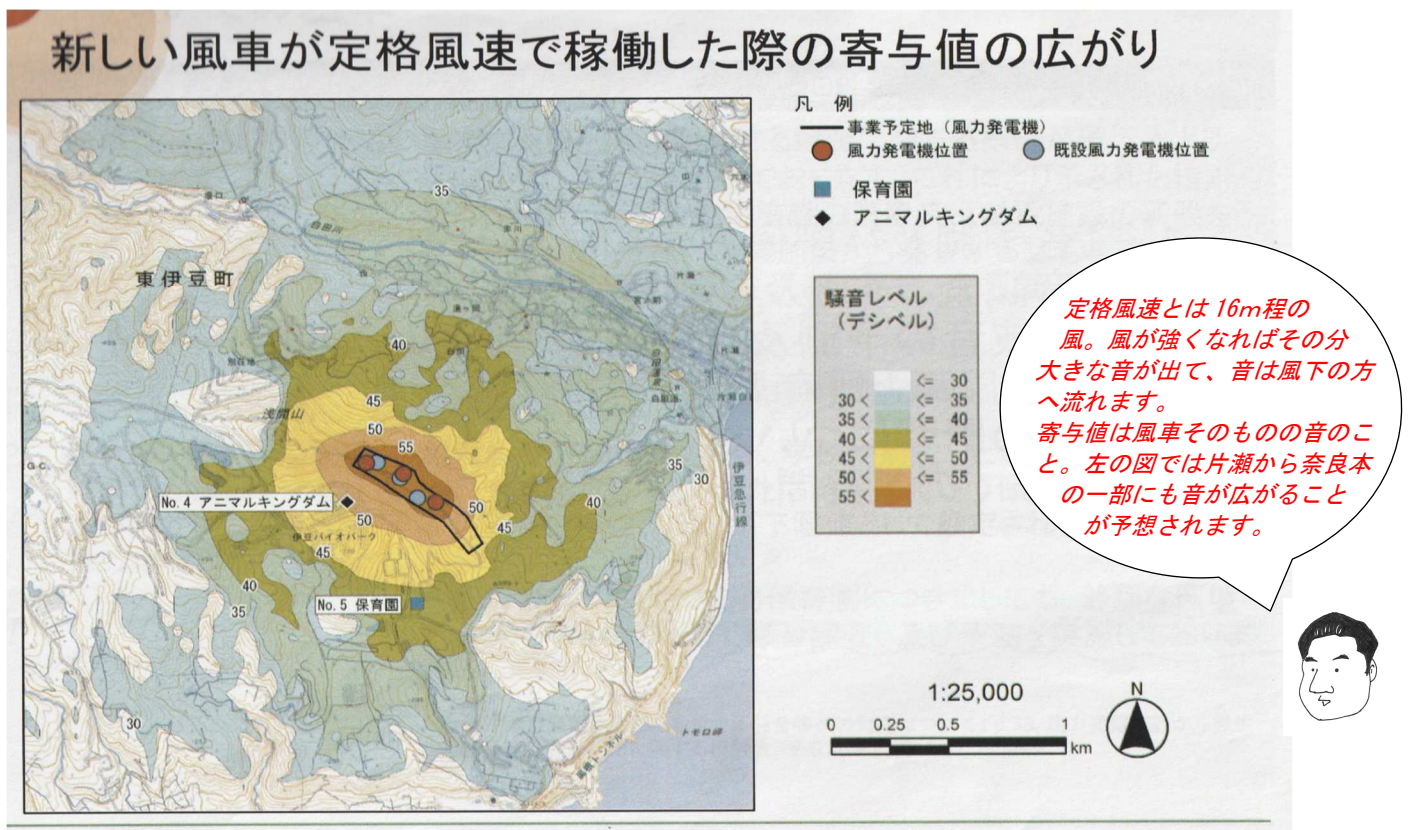
### 議決しました!

- 9月議会では、ワクチン接種が終了する11月～年末年始に向け、「緊急誘客対策補助金」を議決しました。
- ◎プレミアム商品券>年末に向けプレミアム率20%
- ◎宿泊割引>町民割5,000円分@1,500人=7,500千円  
賀茂地区住民割5,000円分@1,500人=7,500千円
- ◎宿泊者対象特産品プレゼント>2,000円@1,000人=2,000千円  
(町民、賀茂住民を除く)
- ◎姉妹都市岡谷市民対象割>(5,000円+クーポン2,000円)@500人分
- ◎その他PR企画など

# 10月13日に住民説明会が予定される 町営の風力発電所の譲渡問題

平成30年12月に議会に説明があった町営の風力発電所の譲渡計画。運転開始から17年で完全に停止しました。今は自然の風に逆らわないように調整していますが、光熱水費と管理委託費に毎年2千万弱の支出が計上されています。ここまできると町も執念？あれだけ騒がれ34回も3者協議が開かれた熱川の風力問題で懲りてません。現在ある60メートルの風車3基を撤去し、その跡地に高さ2倍、出力5倍の風車3基を建設する計画を立てています。GPSS社はネックになっている既存風車の撤去費用も見ると言っていますが、契約内容に不明点が多く騒音そのものへの心配も増しています。特に周辺のアニキンに勤める従業員や保育園児への配慮が大切です。この風車建設は絶対に止めなくてはなりません！！

そもそも町の風力発電施設は儲かったのかというそうではなく、17年間で6億8千万円の売電額で、メンテナンスや管理を考えると全く足りず、町の一般会計から繰り出して運営していました。失敗を認めたくない町は意地になって事業を進めようとしています。それがあの内容の薄い「お知らせ」なのです。



左の図はシャドウフリッカー（風車の影）が掛かる範囲を示しています。この範囲では影が切るように掛かります。

アニマルキングダムは比較的長い時間掛かり、ゴルフ場まで掛かります。片瀬地区、白田地区はほぼ全域に10~30分掛かります。

私の自宅にも熱川の風車の影が掛かり家の中まで入ってきます。誰もいない部屋に影が動くさまは気持ち悪いですよ！

★ 須佐まもるを支えてくれる方  
大 大 大募集！